

日本トルクメニスタン経済委員会

第29回定時総会議案

- 第1号議案 令和4年度役員選任の件
- 第2号議案 令和3年度事業報告書
- 第3号議案 令和3年度収支計算書
- 第4号議案 令和4年度事業計画書
- 第5号議案 令和4年度収支予算書

令和4年(2022年)6月13日

第1号議案

日本トルクメニスタン経済委員会 令和4年度役員選任の件

任期満了後再任となる役員および任期途中退任により欠員と役員を選任。

会 長	都梅博之	伊藤忠商事(株)	専務執行役員・機械カンパニープレジデント
副会長	篠原徹也	三菱商事(株)	執行役員 地域戦略部長(再任)
副会長	徳田 憲	住友商事(株)	理事 グローバル業務部長
副会長	宮崎佳基	丸紅(株)	地域総括部長
副会長	橋本政和	双日(株)	常務執行役員 人事、総務・IT 業務担当本部長 (任期途中退任)
副会長	西川健史	双日(株)	執行役員 インフラ・ヘルスケア本部長(新任)
監 事	西谷和雄	日本商工会議所	理事・国際部長(再任)
顧 問	田中哲二	NPO中央アジア・コーカサス研究所	所長

第2号議案

日本トルクメニスタン経済委員会 令和3年度事業報告書

令和3年(2021年)4月1日～令和4年(2022年)3月31日

1. 情報収集・提供

トルクメニスタンの経済・ビジネスに関する情報を収集し会員に提供した。

2. 交流事業

(1)セルダル・ベルディムハメドフ副首相(当時、現大統領)/トルクメニスタン日本経済委員会会長(当時)と面談 (令和3年(2021年)7月23日 於:帝国ホテル東京)
東京2020オリンピック開会式出席のために訪日したセルダル・ベルディムハメドフ副首相(当時、現大統領)/トルクメニスタン日本経済委員会会長(当時)と面談した。面談終了後、3つのビジネス文書が署名された。

◇日 時: 令和3年(2021年)7月23日(金) 11:05～11:40

◇会 場: 帝国ホテル東京 本館3階 扇の間

◇トルクメニスタン側

S.ベルディムハメドフ	トルクメニスタン副首相(当時、現大統領) トルクメニスタン日本経済委員会会長(当時)
B.ミヤティエフ	トルクメニスタン外務次官
G.エリヤソフ	駐日トルクメニスタン特命全権大使
R.ジェブパロフ	トルクメニスタン国営対外経済関係銀行総裁
G.ベルディエヴァ	在日トルクメニスタン大使館 二等書記官
S.アンナギリジョフ	在日トルクメニスタン大使館 三等書記官

◇経済委員会

都梅会長、篠原副会長、徳田副会長、宮崎副会長、橋本副会長
今村コマツCISグループGM、渡辺川崎重工業専務執行役員、原事務局長

セルダル・ベルディムハメドフ副首相(当時)の発言趣旨:近年の両国のリーダーの相互訪問により経済関係の発展が強化され、これまでにマルィ州のアンモニア・尿素肥料プラント、レバプ州の硫酸プラント、キャンルィのポリエチレン・ポリプロピレン・プラント、ガラボガズの化学肥料プラント、アハル州のGTGプラント、レバプ州ガスタービン火力発電所など、巨大なプロジェクトが実施された。2018年10月に署名された文書には、ガラボガズ2、GTG2、リン酸肥料プラント、建設機械、自動車の納入など新しいプロジェクトが示されている。本日、これらの案件のうち、建設機械と自動車の売買契約と融資に関する文書を締結する。

都梅会長発言趣旨:トルクメニスタンが日本との関係を重視し、日本の技術を高く評価していることにより、両国の経済協力関係が拡大と発展を続けている。コロナ終息後、第14回合同会議を東京で開催し、さらなる経済関係の発展について話し合いたい。

続いて、篠原副会長、徳田副会長、宮崎副会長、橋本副会長、今村コマツCISグループGM、渡辺川崎重工業専務執行役員が、自社のトルクメニスタンでの活動について報告した。



(2)トルクメニスタン外務省季刊誌「外交」に都梅会長がトルクメニスタン独立30周年に向けての祝賀メッセージを寄稿
(令和3年(2021年)8月)

(3)第2回中央アジア・バーチャルEXPO(CAVEX II)に協力および出展

(主催:ロシアNIS貿易会)(令和4年(2022年)1月17日(月)~3月4日(金))

日本と中央アジア諸国とのビジネス振興、貿易・投資促進を目的とした第2回中央アジア・バーチャルEXPO(CAVEX II)に協力した。

CAVEX IIの一環として、2月16日(水)に開催されたウェビナー「日本とトルクメニスタンの貿易・投資関係のさらなる発展の可能性」において、都梅会長が開会挨拶を行い、会員企業より、仙場・双日(株)インフラ・ヘルスケア本部エネルギー・産業インフラ事業部担当部長がコメンテーターとして発言した。

2月17日(木)に開催された「CAVEX II 参加トルクメニスタン企業による日本向けプレゼンテーション:第2部」では、会員企業より、西澤・伊藤忠商事(株)アシガバット事務所長がコメンテーターとして発言した。

また、バーチャル展示会の日本ブースにおいて経済委員会および会員企業についての資料を展示した。

3. 会議の開催

(1)令和3年度第28回定時総会

(令和3年(2021年)6月16日(水)16:00～17:00 於:如水会館 松風の間)

(2)第14回合同会議またはビジネスフォーラム開催に関するオンライン会議

(令和3年(2021年)9月30日(木)14:00～15:00)

参加者:伊藤忠商事、双日、丸紅、三菱商事、住友商事、川崎重工業

千代田化工建設、三興製鋼、東洋エンジニアリング

令和3年(2021年)9月14日(火)に都梅会長がエリヤソフ・駐日トルクメニスタン大使とオンラインで会談した際、エリヤソフ大使より提案のあった、令和3年(2021年)中に経済委員会との間で、対面あるいはオンラインで合同会議またはビジネスフォーラムを開催する件につき、会員各社の考えを聞くためにオンライン会議を行った。

対面で合同会議またはビジネスフォーラムを開催することについて、コロナの状況により、実施できる状況ではないことで一致した。

オンラインで開催することについて、トルクメニスタン側との関係において反対ではなく、開催されれば参加はするが、コロナの影響によりトルクメニスタンでの活動が進捗しておらず、報告や発表はできないとの意見が多勢であった。

ロシアNIS貿易会が令和4年(2022年)1月17日～3月4日にCAVEX IIをオンラインで実施予定であり、トルクメニスタンも参加するので、CAVEX IIを利用するのがよいとの意見が出た。

4. 会員状況

入会	0社
退会	0社
会員数	11社(増減 ±0)

第3号議案

日本トルクメニスタン経済委員会
令和3年度収支計算書

令和3年(2021年)4月1日～令和4年(2022年)3月31日

単位:円

科目	令和2年度決算額	令和3年度予算額(A)	令和3年度決算額(B)	増減(B-A)	備考
収入の部					
会費	2,750,000	2,750,000	2,750,000	0	(1)
合同会議参加費	0	600,000	0	△ 600,000	(2)
諸会合費	18,000	600,000	0	△ 600,000	(3)
受取利息	13	0	24	24	
当期収入合計	2,768,013	3,950,000	2,750,024	△ 1,199,976	
支出の部					
事務局運営費	1,650,000	1,650,000	1,650,000	0	(4)
合同会議開催費	0	2,500,000	0	△ 2,500,000	(5)
諸会合費	81,372	825,000	289,928	△ 535,072	(6)
通信費	1,924	5,000	0	△ 5,000	
交通費	1,194	5,000	168	△ 4,832	
雑費	6,660	2,000	62,519	60,519	(7)
当期支出合計	1,741,150	4,987,000	2,002,615	△ 2,984,385	
当期収支差額	1,026,863	(1,037,000)	747,409	1,784,409	
前期繰越収支差額	19,302	1,046,165	1,046,165	0	
次期繰越収支差額	1,046,165	9,165	1,793,574	1,784,409	

(注)

(1)の内訳:250,000円×11社=2,750,000円

(2)の内訳:合同会議が開催されなかったため計上なし。

(3)の内訳:要人との懇談会等が開催されなかったため計上なし。

(4)の内訳:(1)2,750,000円×60%=1,650,000円

(5)の内訳:合同会議が開催されなかったため計上なし。

(6)の内訳:総会開催費用およびセルダル・ベルディムハメドフ副首相(当時)との懇談会(2022/7/23)開催費用

(7)の内訳:第2回中央アジア・バーチャルEXPO(CAVEX II)関係費用、翻訳料および振込手数料

第4号議案

日本トルクメニスタン経済委員会 令和4年度事業計画書

令和4年(2022年)4月1日～令和5年(2022年)3月31日

1. 情報収集・提供

トルクメニスタンの経済・ビジネスに関する情報を収集し、会員に提供する。

2. 交流事業

(1)講演会・セミナー・企業間交流等、日本とトルクメニスタンのビジネス交流の促進、および友好親善関係を促進する各種の行事を開催する。

(2)第14回合同会議の開催

令和4年(2022年)4月18日(月)に都梅会長がエリヤソフ・駐日トルクメニスタン大使とオンラインで会談し、令和4年(2022年)11月中を候補日程として、第14回合同協議会を東京において開催することで合意した。今後、在日トルクメニスタン大使館と調整する。

(3)トルクメニスタンに関するセミナーやビジネスイベント等(オンラインを含む)の主催あるいは開催に協力する。

3. 会議の開催

令和4年度第29回定時総会を開催

(令和4年(2022年)6月13日(月)16:00～17:15 於:如水会館 松風の間)

第5号議案

日本トルクメニスタン経済委員会
令和4年度収支予算書

令和4年(2022年)4月1日～令和5年(2023年)3月31日

単位:円

科目	令和3年度予算額(A)	令和3年度決算額	令和4年度予算額(B)	増減(B-A)	備考
収入の部					
会費	2,750,000	2,750,000	2,750,000	0	(1)
合同会議参加費	600,000	0	600,000	0	(2)
諸会合費	600,000	0	600,000	0	(3)
受取利息	0	24	0	0	
当期収入合計	3,950,000	2,750,024	3,950,000	0	
支出の部					
事務局運営費	1,650,000	1,650,000	1,650,000	0	(4)
合同会議開催費	2,500,000	0	2,500,000	0	(5)
諸会合費	825,000	289,928	825,000	0	(6)
通信費	5,000	0	5,000	0	
交通費	5,000	168	5,000	0	
雑費	2,000	62,519	2,000	0	(7)
当期支出合計	4,987,000	2,002,615	4,987,000	0	
当期収支差額	(1,037,000)	747,409	(1,037,000)	0	
前期繰越収支差額	1,046,165	1,046,165	1,793,574	747,409	
次期繰越収支差額	9,165	1,793,574	756,574	747,409	

(注)

(1)の内訳: 250,000円×11社=2,750,000円

(2)の内訳: 第14回合同会議参加費

①会員企業 10,000円×30名=300,000円

②非会員企業 15,000円×20名=300,000円

(3)の内訳: 要人との懇親会費等 20,000円×15名×2回=600,000円

(4)の内訳: (1)2,750,000円×60%

(5)の内訳: 第10回合同会議開催費用(会場費、通訳雇用費、車両借上費、レセプション開催費、報告書作成費等)を参考に算出。

ただし、ロシアNIS貿易会からの補助がない場合。

(6)の内訳: 総会開催費用および要人との懇親会開催費用等

(7)の内訳: 振込手数料等